

第 2 回 定 例 総 会 を 開 催

日本農学アカデミー第2回定例総会が平成11年11月19日に、日本学術会議第3部会議室で開催された。冒頭事務局から、出席者30人委任状提出者92人と報告され、本総会が成立するむねの発言のあと、佐々木会長が欠席のため、中井副会長が議長を務めた。

長堀副会長から開会の挨拶の後議事（議事説明は長堀・中井両副会長が担当。）に入った。

第一号議案 会則及び内規の一部改正について

会則第5条（会員の種別）及び第7条（会費）を次のように改正した。

第5条関係 会員の種別を正会員及び賛助会員とし、客員会員（外国人会員）も外国人会員の希望もあり正会員とした。

第7条（会費関係） 会費の有効期限を期毎でなく、加入時の年度を含め満3年とした。

会則の改正に伴い、関連する内規を改正した。

第二号議案 日本農学アカデミー会員の会員証の発行について

会員証の発行については、様式、経費負担等今後の理事会に一任された。

第三号議案 平成10年度事業の実施状況について

1. 設立総会の開催

平成10年11月30日15時30分から日本学術会議第6部会議室において開催され、①日本農学アカデミー設立②会則・内規の制定③役員の選定④平成10年度予算について審議され、すべて原案どおり承認された。

2. 幹事会の開催

平成11年1月13日13時から日本学術会議第6部会議室において開催され、①会費納入の督促②各委員会の活動計画について、担当委員長からそれぞれ説明があった。

引き続き③会員の勧誘④会員名簿の作成などについて審議された。

3. 理事会の開催

平成11年3月30日14時から日本学術会議第6部会議室で開催され、①平成10年度の活動計画②日本農学アカデミー主催シンポジウムの開催について審議され、会員の増加策、会員名簿作成等の他、各委員会の長に対し活発な活動を依頼した。

4. 学術情報委員会（シンポジウム関係）の開催

平成11年5月18日13時30分から日本学術会議特別会議室で開催され、「第1回日本農学アカデミー主催シンポジウム」の開催について、シンポジウム講演等予定者を交え審議された。

5. 学術情報委員会の開催

平成11年5月24日13時30分から日本学術会議特別会議室で開催され、「第1回日本農学アカデミー主催シンポジウム」を平成11年6月2日に開催することを決定した。

6. 第1回日本農学アカデミー主催シンポジウムの開催

平成11年6月2日13時30分から16時30分まで日本学術会議講堂において開催した。

（別掲「日本農学アカデミー設立記念シンポジウム「21世紀の農学のビジョン」について」参照）

なお、当日の参加者は100名余であった。

第四号議案 平成11年度事業計画について

1. 総会の開催を平成11年度終了後できるだけ早く開催する他、理事会・幹事会等の開催を活発にする。
2. 第2回日本農学アカデミー主催シンポジウムを開催する。
3. 会報を発行する。

第五号議案 平成10年度決算について

別 掲

第六号議案 平成11年度予算について

別 掲

以上、平成11年度の総会でご承認いただきました事項について、ご報告いたします。

監 査 報 告

平成10年度日本農学アカデミーの決算報告について、監査した結果、正当であることを認めます。

平成11年11月15日

日本農学アカデミー 監 事 朝 日 田 康 司 ㊟
同 門 田 定 美 ㊟

平成10年度収支計算書				(単位:円)
収入の部		支出の部		
会費収入	4,800,000	印刷製本費	125,125	日本農学アカデミーの葉, シンポジウムスター
(30,000×160人)		会 議 費	57,300	理事会・シンポジウム等食事代
		通信運搬費	56,660	往復切手, 切手
		会費振込手数料	18,210	@120円 但し、現金で支払った人が
				いるため人数とは一致しない
		図書購入費	554,944	月刊学術の動向
		消耗品費	35,623	封筒・文具費
		備品費	6,300	会長印
		人件費	4,250	アルバイト
		会費払戻金	60,000	重複による返還金
		諸経費	160,000	事務管理費
計	4,800,000		1,078,412	
次期繰越金	3,721,588			

平成11年度予算				(単位:円)
収入の部		支出の部		
前年度繰越金	3,721,588	図書購入費	1,124,000	
新規入会者会費	900,000	会員名簿作成費	350,000	
		シンポジウムスター作成費	70,000	
		会報作成費	30,000	
		通信運搬費	50,000	
		会 議 費	184,000	
		諸 経 費	160,000	
		予 備 費	100,000	
計	4,621,588		2,068,000	
次期(平成12年度)繰越金	2,553,588			

日本農学アカデミー役員

役員

会長・理事	佐々木恵彦	日本学術会議副会長
副会長・理事	中井 弘和	静岡大学農学部長
副会長・理事	長堀 金造	日本学術会議第6部長
理事	岡野 健	日本学術会議第6部会員
//	久能 均	三重大学生物資源学部長
//	小島 誠	新潟大学農学部長
//	穴戸 弘明	元国立畜産試験場長（鯉淵学園長）
//	島田 淳子	日本学術会議第6部幹事
//	田渕 清	麻布大学獣医学部教授（元学部長）
//	並河 鷹夫	名古屋大学農学部長
//	松田藤四郎	日本学術会議第6部会員
//	森地 敏樹	元国立畜産試験場長（日本大学教授）
//	安室 喜正	鳥取大学農学部長
//	山崎 耕宇	日本学術会議第6部副部長
//	山下 興亜	日本学術会議第6部幹事
監事	朝日田康司	日本学術会議第6部会員
//	門田 定美	日本大学生物資源科学部長

（99年3月現在）

～日本農学アカデミー会報の編集にあたって～

総務企画委員長 長堀金造

会員への総会案内状の返事で、総会にもシンポジウムにも出席できない会員のために、農学アカデミーの活動の状況がわかるような会報でも発刊してもらえないかという意見が寄せられました。早速役員会に諮り、会報の発刊と体裁について検討し、総会で承認を得た次第です。

しかし、何分にも財政的なゆとりがあるわけではないので、会報といっても10頁程度の冊子にまとめるのが精一杯というところでした。

編集方針としては、農学アカデミーの諸行事を中心に、さらには会員の所属する機関のニュースなどを紹介したいと考えました。

創刊号を発刊するにあたっては、編集委員会を設置することが出来なかったため、総務企画委員会がこれにあたったことをおことわりしておきたい。会員の皆さんに少しなりともお役にたつならばと願っています。

「日本農学アカデミー」の題字は、日本学術会議会長吉川弘之先生によるものです。